取扱説明書

このたびは、マクソンDCP MIDIインターフェイスDMI 4をお買い求め頂きまして、誠にありがとうございます。
DMI 4の性能をフルに発揮させるために、また末永く支障なくお使い頂けますよう、ご使用の前にはこの取扱説明書を是非お読みください。

■ 特　　徴

◆ DMI 4はマクソンDCPシリーズ・エフェクターのシステム化を達成する目的で設計された、MIDIインターフェイスです。DCPシリーズ・エフェクターを4台まで接続することができ、各エフェクターのサウンドを任意に選び出すことによって各種のコンビネーション・サウンドを創り上げることができます。
◆ DCPエフェクターのフット・スイッチにシステム全体のバイパス機能や、プログラムのインクリメント／ディクリメント機能を持たせることができます。
◆ MIDI信号を扱うことができ、外部MIDI機器より本体のプログラムを変更したり、本機より外部MIDI機器をコントロールすることができます。
◆別売のACアダプターAC609を接続すると本機より各DCPエフェクターに電源を供給することができます。

目　次

ご使用の前に

次のような場所でのご使用は故障などの原因となりますのでご注意ください。

◇　直射日光が当る場所。
◇　温度や湿度が極端に高い場所や低い場所。
◇　砂やホコリの多い場所。
◇　衝撃や振動の加わる場所。

電源について

◇　本機には必ず付属の AC アダプター又は、AC609を使用してください。他社の AC アダプターを使用した場合、正常な動作をしない場合があります。
◇　本機の AC アダプターは100V 専用です、必ず AC100V の電源コンセントに差し込んでお使いください。
◇　海外でご使用になられる場合は、当社アフター・サービス・ルームにご相談ください。

取扱について

◇　外装のお手入れは柔らかい布で拭いて下さい。ベンジンやシンナー類の使用は絶対に避けてください。
◇　ラジオやテレビなどのすぐそばでご使用になりますと、本機に雑音が入ったり誤動作の原因になることがあります。このような場合は離してご使用ください。
◇　スイッチやツマミに必要以上の力を加えることは避けてください。

■各部の名称と働き

⑤バイパス・インジケーター
②プログラムNo.上位桁
①プログラムNo.ディスプレイ
③プログラムNo.下位桁
④OMNI／ERR インジケーター
OUT
THRU
IN
MIDI
IN
DC
BYPASS
OMNI/ERR
Maxon
PROGRAM NUMBER
DMI4
DCP MIDI INTERFACE
SEDI
4
BYPASS/EFFECT
3
BANK INC.
2
PATCH DEC.
1
PATCH INC.

⑨SEDI 4コネクター
⑧SEDI 3コネクター
⑦SEDI 2コネクター
⑥SEDI 1コネクター

⑬OMNI ON／OFF スイッチ
⑮ACアダプター・ジャック
⑫MIDIイン・コネクター
⑩MIDIアウト・コネクター
MIDI CH
OMNI
OFF
ON
⑭MIDIチャンネル設定スイッチ
⑪MIDIスルー・コネクター

①プログラムNo.ディスプレイ
プログラムNo.を表示します。

＊ プログラムNo.の上位桁および下位桁はSEDI 1コネクターに接続されたDCPエフェクターのプレイ・モードのバンクNo.0～9．パッチNo.0～9を表します。
＊ 本機で扱えるプログラムNo.は00～99迄です。
＊ MIDIのプログラム・チェンジとは1対1で対応します。
ただしMIDIでコントロールする場合、プログラム・チェンジ100番以上は無視されます。

②プログラムNo.上位桁
SEDI 1コネクターに接続されたDCPエフェクターのプレイ・モードのバンクNo.に対応します。

③プログラムNo.下位桁
SEDI 1コネクターに接続されたDCPエフェクターのプレイ・モードのパッチNo.に対応します。

④OMNI／ERRインジケーター
＊OMNI ：⑬OMNI ON／OFFスイッチの状態を表します。
電源投入時、スイッチがONになっていると数秒間点滅します。
＊ERR ：MIDI信号やSEDI信号を受信中にエラーが生じた場合、点灯します。

⑤バイパス・インジケーター
システムがバイパス状態になったとき点灯します。

⑥SEDI 1コネクター
DCPシリーズ・エフェクターを接続するコネクターです。接続には付属の専用ケーブルを使用してください。
＊ このコネクターに接続されたDCPエフェクターのプレイ・モードのプログラムによりシステムがコントロールされます。
＊ このコネクターに接続されたDCPエフェクターのフット・スイッチはパッチNo.のインクリメント・スイッチとして機能します。

⑦SEDI 2コネクター
DCPシリーズ・エフェクターを接続するコネクターです。接続には付属の専用ケーブルを使用してください。
＊ このコネクターに接続されたDCPエフェクターのフット・スイッチはパッチNo.のディクリメント・スイッチとして機能します。

⑧SEDI 3コネクター
DCPシリーズ・エフェクターを接続するコネクターです。接続には付属の専用ケーブルを使用してください。
＊ このコネクターに接続されたDCPエフェクターのフット・スイッチはバンクNo.のインクリメント・スイッチとして機能します。

⑨SEDI 4コネクター
DCPシリーズ・エフェクターを接続するコネクターです。接続には付属の専用ケーブルを使用してください。
＊ このコネクターに接続されたDCPエフェクターのフット・スイッチはバイパス／エフェクト切り替えスイッチとして機能します。

⑩ MIDI アウト・コネクター
MIDI 信号を送信するためのコネクターです。

⑪MIDI スルー・コネクター
⑫MIDI イン・コネクターで受信した MIDI 信号をそのまま他の MIDI 機器に送り出すためのコネクターです。

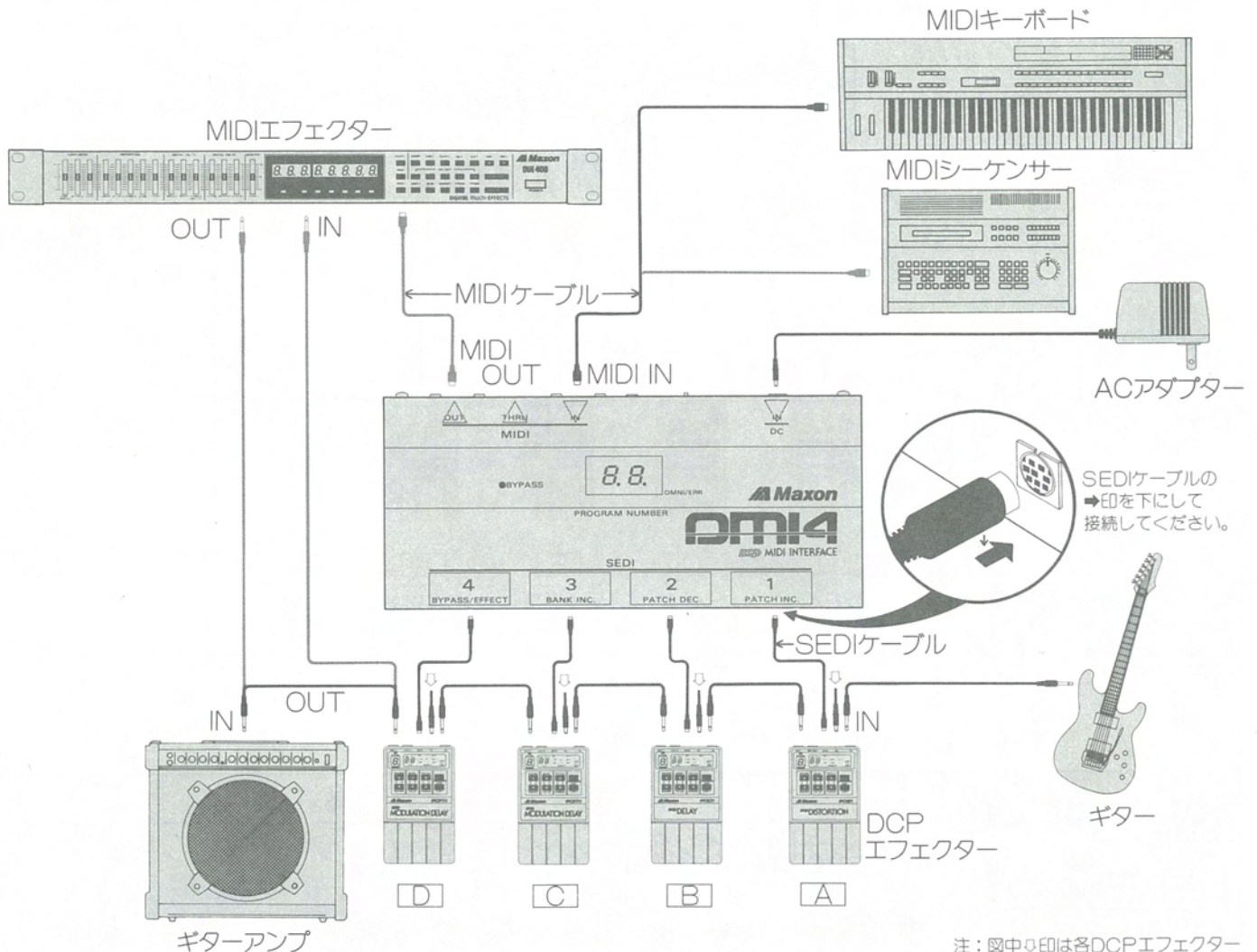
⑫MIDI イン・コネクター
MIDI 信号を受信するためのコネクターです。

⑬OMNI ON ／ OFF スイッチ
スイッチを ON にすると送信側の MIDI チャンネルに関係なく MIDI 信号を受信します。OFF にすると送信側と DMI 4の MIDI チャンネルが同じでないと受信しません。

⑭MIDI チャンネル設定スイッチ
MIDI 信号の送信／受信チャンネル（1～16）を設定します。

⑮AC アダプター・ジャック
DMI 4に電源を供給するためのジャックです。
付属の専用 AC アダプター又は、AC609を使用してください。

■接続の方法

DMI 4を使用したシステムの作り方は下図のように行なってください。
＊ エフェクター A B C D は、カスケード（直列）接続してください。従って、接続にはエフェクターを組み合せて出来る音（以下コンビネーション・サウンドと呼ぶ）を十分に考慮して行なってください。

注：図中⇩印は各DCPエフェクターに付属のACアダプターを示す。別売のAC609を接続した場合は必要ありません。

＊ **システム全体はSEDI 1コネクターに接続された A エフェクターのプレイ・モードのプログラムによってコントロールされます。従って、使用するエフェクターが2台、3台の場合でも必ずSEDI 1コネクターを使用してください。**

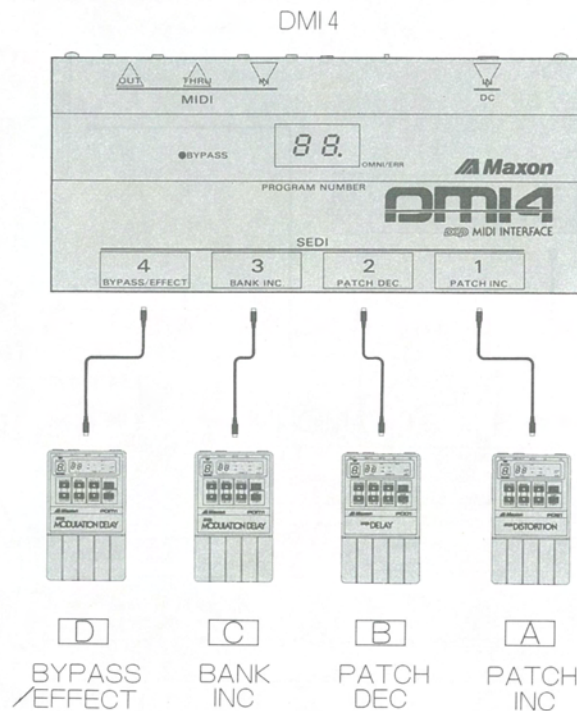
＊ 使用するエフェクターが2台、3台の場合は必要と思われる機能のSEDIコネクターに接続してください。（エフェクターのフット・スイッチ機能については7ページをご覧ください。）

＊ DMI 4及び各エフェクターにはそれぞれに付属しているACアダプターで電源を供給してください。

＊ 別売のACアダプターAC609をDMI 4に接続すると、SEDI 1ケーブルを介して各DCPエフェクターに電源を供給できます。尚、その際は各エエクターの消費電流の合計が500mAをこえないようにしてください。

＊ DCPエフェクターにACアダプター・ジャックとSEDIケーブルの双方より電源を供給した場合はACアダプター・ジャックが優先されます。

■フット・スイッチの機能

DMI 4に接続されたDCPエフェクターのフット・スイッチは、SEDIコネクターの場所によって、次のように機能が割り付けられます。

[各エフェクターのフット・スイッチ機能]

フット・スイッチ	機　　能	備　　考
SEDI　1の [A] エフェクター	パッチNo.のインクリメント (アップ)	同一バンク内でインクリメントし、EOPの設定に従う。
SEDI　2の [B] エフェクター	パッチNo.のディクリメント (ダウン)	同一バンク内でディクリメントし、EOPの設定に従う。
SEDI　3の [C] エフェクター	バンクNo.のインクリメント (アップ)	バンクNo.を替えるとパッチNo.は0になる。
SEDI　4の [D] エフェクター	バイパス/エフェクト 切り替え	トグル(繰り返し)動作します。

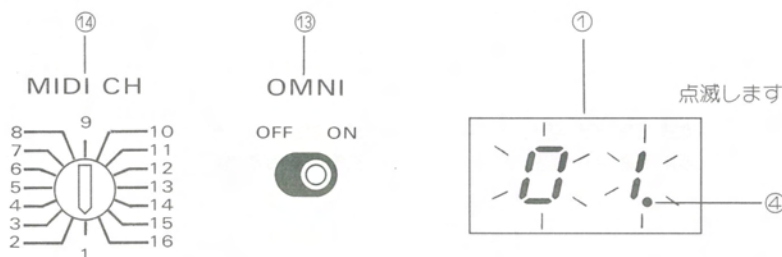
＊EOP (END OF PATCH)： プレイ・モードのとき、終了パッチを識別するためのもので、[A] エフェクターに指定することによりシステム全体が [A] エフェクターのEOPを認識し動作します。

操作方法

電源の投入

電源の投入は次の順序で行ってください。

［1］各エフェクターに付属の AC アダプターで電源を供給します。

［2］DMI 4 に付属の AC アダプターで電源を供給します。
このとき、①プログラムNo. ディスプレイは MIDI チャンネルの設定状況と、OMNI ON／OFF の状態を数秒間点滅表示します。

＊ ①プログラムNo.ディスプレイの数値は⑭MIDI チャンネル設定スイッチで設定された値です。
＊ ④ OMNI／ERR インジケーターのドットが点滅すると、⑬OMNI ON ／ OFF スイッチが ON であることを示します。
＊ 別売の AC アダプター AC609を使用する場合は［1］の作業は必要ありません。

電源投入後の状態

［1］①プログラムNo.、ディスプレイの点滅が止まり、上位桁に、"SEDI 1の A エフェクターの前回終了時のバンクNo."下位桁に "パッチNo. 0" が呼び出されます。

＊ A エフェクターのバンクNo.と DMI 4 のバンクNo.が異なる場合はセット・ミスです。この場合は DMI 4の電源を1度 OFF し SEDI ケーブルの接続を確認してから再度 ON してください。

［2］SEDI コネクターに接続された DCP エフェクターのモードが自動的に下記のようになります。

SEDI 1の A エフェクター

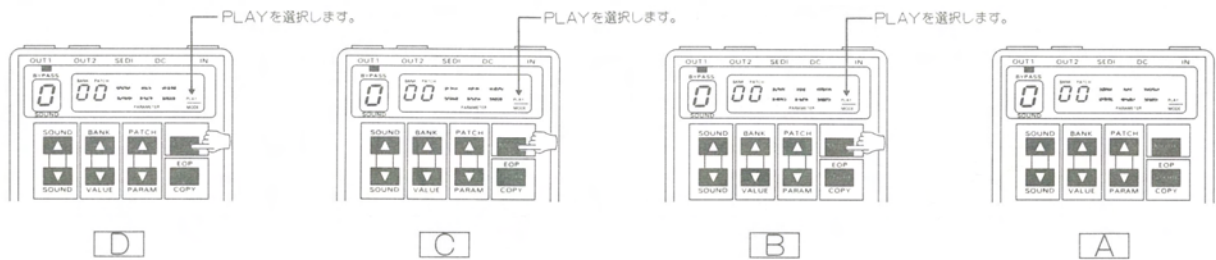
SEDI 2~4の B, C, D エフェクター

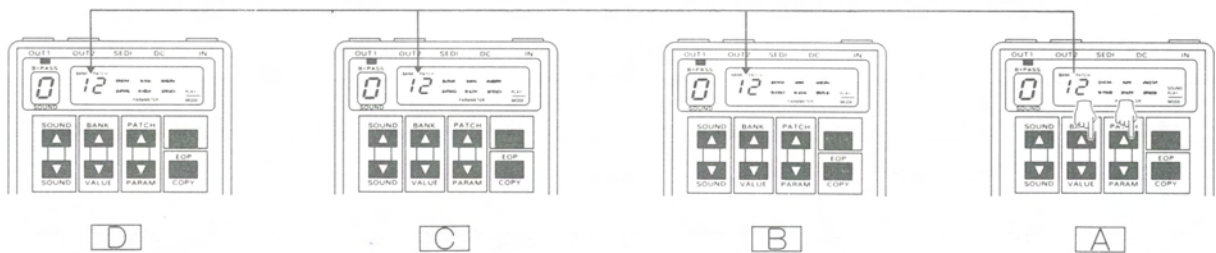
＊ この状態が DMI 4 を使用したシステムの通常動作状態です。
＊ SLAVE(スレーブ)モードとは SEDI 1の A エフェクターを親装置とした場合、コントロールされる子装置になることを示すモードです。
＊ 電源投入後には各エフェクターは必ず上記のモードになります。ならない場合はセット・ミスです。この場合は DMI 4の電源を1度 OFF し SEDI ケーブルの接続を確認してから再度 ON してください。
＊ 初めて DMI 4 でシステムを組み合わせて、コンビネーション・サウンドを作るときは 9 ページの "コンビネーション・サウンドの作り方" を参照してください。

コンビネーション・サウンドの作り方

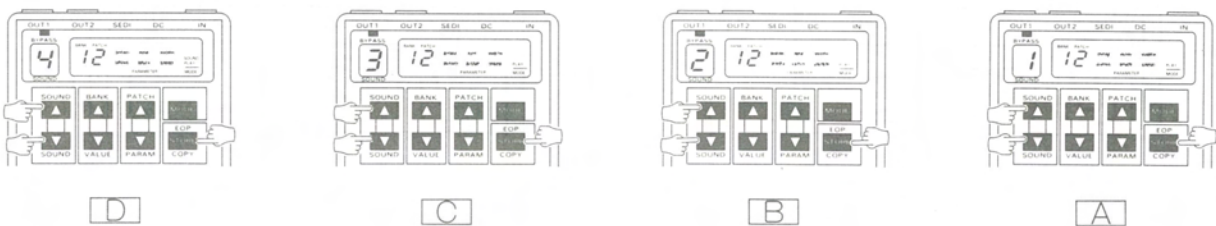
コンビネーション・サウンドはカスケード（直列）接続したエフェクターのトータル出力であり、DMI 4では各エフェクターのサウンドを組み合せて効果音を得ることから、このように呼びます。

［1］各エフェクターのモードをモード・キーによりプレイモードにしてください。

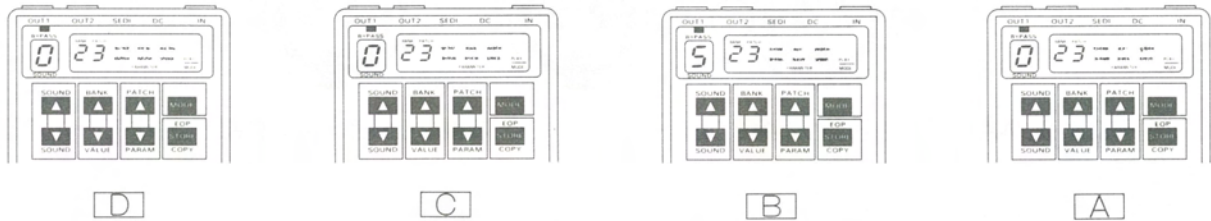
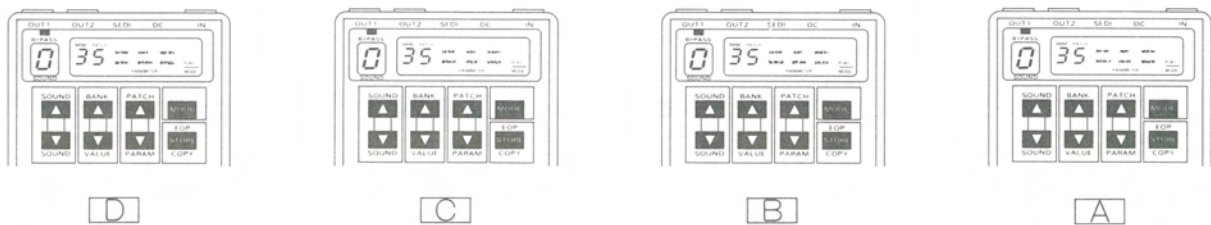
＊ A エフェクターは電源投入時にプレイモードになっています。

［2］プログラム（コンビネーション・サウンド）を作成するバンクNo.、及びパッチNo.を A エフェクターのバンク／パッチ・キーを使用して選びます。

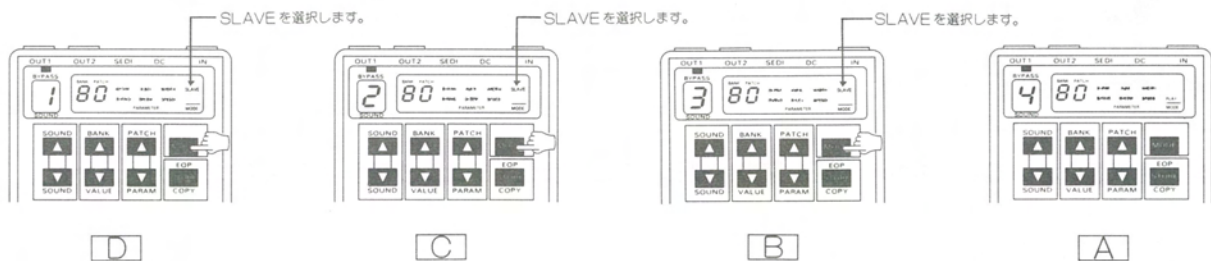
＊ B，C，D エフェクターは A エフェクターのバンク／パッチNo.と同一になるようにコントロールされます。

［3］各エフェクターの使用するサウンドを決定します。

＊ 使用するサウンドは、各エフェクターごとにサウンドNo.キーにより選択してください。

＊ 下図はバンクNo.1パッチNo.2に A エフェクターから順にサウンドNo.1 2 3 4をプログラムした例です。

＊ エフェクターによってはバイパスにしたい場合があると思いますが、その場合はサウンドNo.0を選択してください。

＊ 各エフェクターのサウンドが決定しましたら各エフェクターごとに必らずストア・キーを押してください。

例1：1台のエフェクターの任意のサウンドのみを呼びだすプログラム
下図ではバンクNo.2パッチNo.3に B エフェクターのサウンドNo.5のみを呼びだすプログラムをセットしてみました。

例2：全てのエフェクターにサウンドNo.0を選択した場合システムとしての出力はダイレクト音で、バイパス状態と同じですが⑤バイパス・インジケーターは点灯しません。

[4] [2]、[3] の操作を繰り返して他のコンビネーション・サウンドを作ります。

[5] B , C , D エフェクターのモードをモード・キーによりスレーブモードにもどします。
＊ これでDMI 4を使用したシステムの通常動作状態にもどります。

[6] コンビネーション・サウンドは任意のバンクのパッチNo.0から曲の演奏順に並べていくと非常に便利です。バンクは10バンクありますので，1曲に1バンク使用しても10曲分プログラムできます。もちろん1バンク内に数曲分を割付けるという方法もとれます。
＊ A エフェクターにEOP(エンド・オブ・パッチ)を設定すれば、必要なコンビネーション・サウンドを繰り返し呼び出すことができます。
EOPの設定については、各DCPエフェクターの取扱説明書を参照してください。

■MIDIコントロール

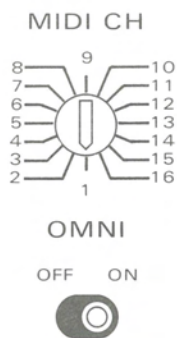
本機は、MIDI (Musical Instrument Digital Interface) 信号を扱うことができ、下記のようなMIDI専用DINコネクターを装備しています。

MIDI信号により、外部MIDI機器より本機をコントロールしたり、本機より外部MIDI機器をコントロールすることができます。

扱えるメッセージは次の通りです。

* チャンネル・ボイス・メッセージ (プログラム・チェンジ)
* システム・イクスクルーシブ・メッセージ

◇ 扱えるプログラム・チェンジNo.は00〜99です。100以上は無視されます。
プログラム・チェンジNo.の上位桁/下位桁はそれぞれ、DCPシリーズ・エフェクターのバンクNo./パッチNo.に対応します。

◇ システム・イクスクルーシブ・メッセージを使用される方は〝MIDI送受信データー・フォーマット〟14ページを参照してください。

◇ MIDI信号で本機をコントロールする場合、送信側のMIDIチャンネルと、本機のMIDIチャンネル (CH=1〜16) を同じにする必要があります。
送信側のMIDIチャンネルを調べ、本機背面の⑭MIDIチャンネル切替スイッチで同じチャンネルに設定してください。

◇ 送信側のチャンネルに関係なく信号を受信したい場合は、⑬OMNI ON/OFFスイッチをONにしてください。

◇ 機器間の接続には15m以内のMIDI専用ケーブルを使用してください。

MIDIアウトの信号

通常使用状態においては、本機のMIDIアウトからはプログラム・チェンジ信号 (0〜99) が出力されます。

◇ システムのバイパス
DMI 4とDCPシリーズ・エフェクターのシステムにおいては、バイパス状態になるとプログラム・チェンジNo.〝0〟を出力します。
DMI 4とDCPエフェクターのシステムの他に外部MIDI機器を使用しシステム全体のバイパス状態を必要とする場合は、外部MIDI機器をプログラム・チェンジNo.〝0〟を受けた時にバイパス状態になるように決定してください。
(注)バイパスに設定できない機種もあります。

◇ DMI 4システムがバイパスのとき、バンクNo.あるいはパッチNo.を変えてもエフェクト状態に切り換えない限り、そのコンビネーション・サウンドは出力されません。
(プログラムNo.は変化します。)
従って、MIDI信号も、エフェクト状態になったとき初めて出力されます。
* エフェクト状態ではバンクNo./パッチNo.を切り替える度にプログラム・チェンジ信号を出力します。

主な仕様／規格

〔1〕ディスプレイ／インジケーター
　プログラムNo.ディスプレイ　：7セグメント2桁表示
　バイパス・インジケーター　：緑色LED
　OMNI／ERR・インジケーター　：赤色LED

〔2〕SEDI（Small Effector Digital Interface）
◇コネクター
　SEDI　1：ミニ・コネクター
　SEDI　2：ミニ・コネクター
　SEDI　3：ミニ・コネクター
　SEDI　4：ミニ・コネクター

◇送／受信
　プログラム・チェンジ
　イクスクルーシブ・メッセージ

〔3〕MIDI
◇コネクター
　MIDI イン　：DIN コネクター
　MIDI スルー　：DIN コネクター
　MIDI アウト　：DIN コネクター

◇スイッチ
　OMNI ON／OFF スイッチ
　MIDI チャンネル設定スイッチ

◇送／受信
　チャンネル・ボイス・メッセージ（プログラム・チェンジNo.００～９９）
　システム・イクスクルーシブ・メッセージ

〔4〕電源　：付属の AC アダプター及び AC609

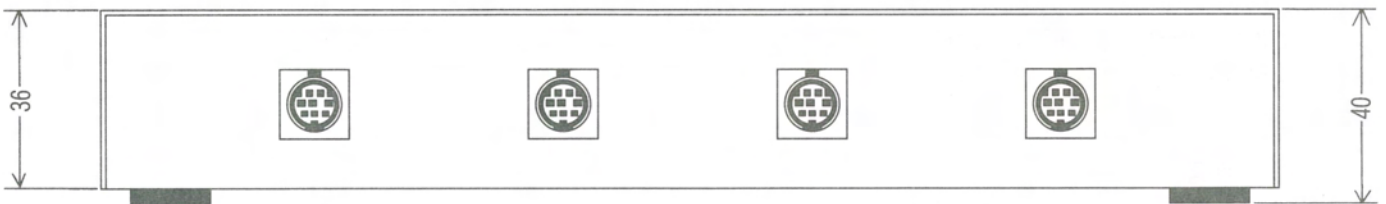
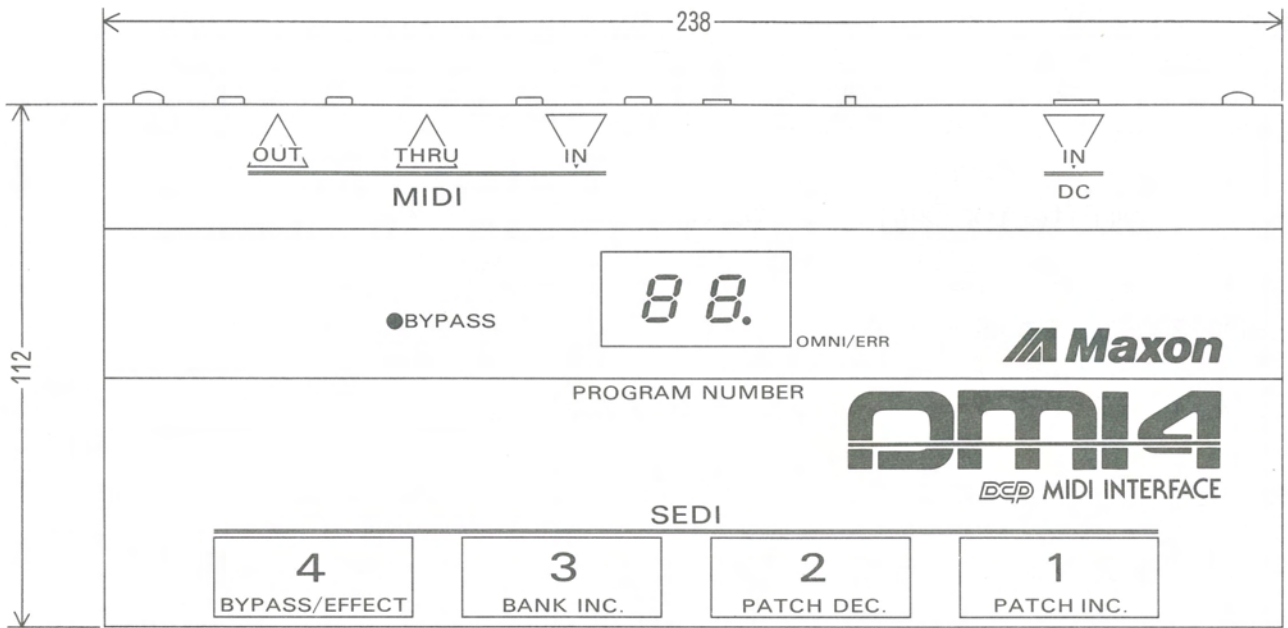
〔5〕消費電流：80mA

〔6〕外形寸法：238mm(W)×40mm(H)×112mm(D)

〔7〕重量　：900g

〔8〕付属品　：AC アダプター AC210
　：SEDI ケーブル　4本
　：ファンクション・シール

＊仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

■寸法図

238
112
OUT
THRU
IN
MIDI
IN
DC
88.
BYPASS
OMNI/ERR
PROGRAM NUMBER
Maxon
DMI4
DCP MIDI INTERFACE
SEDI
4
BYPASS/EFFECT
3
BANK INC.
2
PATCH DEC.
1
PATCH INC.

36
40

■ MIDI送受信データー・フォーマット

受信データー・フォーマット

チャンネル・ボイス・メッセージ

[1] プログラム・チェンジ／MIDI CH.

ステータス	1100nnnn	(n=0〜15：MIDI CH.)
プログラムNo.	0ppppppp	(p=0〜99)

＊本機は、プログラムNo.＝0〜99であるため100以上は無視される。

システム・エクスクルーシブ・メッセージ

メッセージの構造

ステータス	(F0H：システム・エクスクルーシブ)
+	
ID No.	(4DH：ID No.)
+	
システムNo.	(000000yy：y=0がシステム・コモン、y=1がSEDIに接続された機器、y=2がDMI 4の指定)
+	
システムCH.	(0sssnnnn：s=1〜4はSEDI CH.指定、s=0はSEDI共通、n=0〜15はMIDI CH.の指定)
+	
サブステータス	(メッセージの種類)
+	
パラメーター	(サブステータスの種類によってバイト数は異なる。)
+	
データーバイト	(サブステータスの種類によってバイト数は異なる。)
+	
EOX	(END OF SYSTEM EXCLUSIVE)

＊システムNo.y＝0の時、SEDIはアクセスされずDMI 4が指定される。

[1] ダンプ・リクエスト

(A) 機種IDダンプ・リクエスト

ステータス	11110000	(F0H)
ID No.	01001101	(4DH)
システムNo.	000000yy	(y=0 or 2：DMI 4、y=1：SEDI)
システムCH.	0sssnnnn	(S=SEDI CH.、n=MIDI CH.)
サブステータス	01111111	(7FH)
EOX	11110111	(F7H)

(B) シーケンス・ダンプ・リクエスト、全バンク指定

ステータス	11110000	(F0H)
ID No.	01001101	(4DH)
システムNo.	00000001	(SEDI指定)
システムCH.	0sssnnnn	(S=SEDI CH.、n=MIDI CH.)
サブステータス	01111110	(7EH)
パラメーター	01000000	(40H)
EOX	11110111	(F7H)

(C) シーケンス・ダンプ・リクエスト、バンクNo.指定

ステータス	11110000	(F0H)
ID No.	01001101	(4DH)
システムNo.	00000001	(SEDI指定)
システムCH.	0sssnnnn	(s=SEDI CH.、n=MIDI CH.)
サブステータス	01111110	(7EH)
パラメーター	0000bbbb	(b=バンクNo.0〜9)
EOX	11110111	(F7H)

(D) カレント・シーケンス・ダンプ・リクエスト

ステータス	11110000	(F0H)
ID No.	01001101	(4DH)
システムNo.	00000001	(SEDI指定)
システムCH.	0sssnnnn	(S=SEDI CH.、n=MIDI CH.)
サブステータス	01111101	(7DH)
EOX	11110111	(F7H)

(E) サウンド・パラメーター・ダンプ・リクエスト、全パラメーター指定

ステータス	11110000	(F0H)
ID No.	01001101	(4DH)
システムNo.	00000001	(SEDI指定)
システムCH.	0sssnnnn	(S=SEDI CH.、n=MIDI CH.)
サブステータス	01111100	(7CH)
パラメーター1	000aaaaa	(a=サウンドNo.0〜19)
パラメーター2	01000000	(40H)
EOX	11110111	(F7H)

(F) サウンド・パラメーター・ダンプ・リクエスト、パラメーターNo.指定

ステータス	11110000	(F0H)
ID No.	01001101	(4DH)
システムNo.	00000001	(SEDI指定)
システムCH.	0sssnnnn	(S=SEDI CH.、n=MIDI CH.)
サブステータス	01111100	(7CH)
パラメーター1	000aaaaa	(a=サウンドNo.0〜19)
パラメーター2	00cccccc	(c=サウンド・パラメーターNo.0〜63)
EOX	11110111	(F7H)

(G) カレント・サウンド・パラメーター・ダンプ・リクエスト、全パラメーター指定

ステータス	11110000	(F0H)
ID No.	01001101	(4DH)
システムNo.	00000001	(SEDI指定)
システムCH.	0sssnnnn	(S=SEDI CH.、n=MIDI CH.)
サブステータス	01111011	(7BH)
パラメーター	01000000	(40H)
EOX	11110111	(F7H)

(H) カレント・サウンド・パラメーター・ダンプ・リクエスト、パラメーターNo.指定

ステータス	11110000	(F0H)
ID No.	01001101	(4DH)
システムNo.	00000001	(SEDI指定)
システムCH.	0sssnnnn	(S=SEDI CH.、n=MIDI CH.)
サブステータス	01111011	(7BH)
パラメーター	00cccccc	(c=サウンド・パラメーターNo.0〜63)
EOX	11110111	(F7H)

[2] ストア・リクエスト

(A) シーケンス・ストア・リクエスト、全バンク指定

ステータス	11110000	(F0H)
ID No.	01001101	(4DH)
システムNo.	00000001	(SEDI指定)
システムCH.	0sssnnnn	(S=SEDI・CH.、n=MIDI CH.)
サブステータス	01011110	(5EH)
パラメーター	01000000	(40H)
バイトカウント	00110100	(データーバイト数=100)
データーバイト	0a0ddddd	(d=0〜19、エンド・オブ・パッチはa=1)
	⁀	
	0a0ddddd	
チェックサム	0eeeeeee	
EOX	11110111	(F7H)

＊チェックサムはデーターバイトの加算値の2の補数の下位7ビット

(B) シーケンス・ストア・リクエスト、バンクNo.指定

ステータス	11110000	(F0H)
ID No.	01001101	(4DH)
システムNo.	00000001	(SEDI指定)
システムCH.	0sssnnnn	(S=SEDI CH.、n=MIDI CH.)
サブステータス	01011110	(5EH)
パラメーター	0000bbbb	(b=バンクNo.0〜9)
バイトカウント	00001010	(データーバイト数=10)
データーバイト	0a0ddddd	(d=0〜19、エンド・オブ・パッチはa=1)
	⁀	
	0a0ddddd	
チェックサム	0eeeeeee	
EOX	11110111	(F7H)

(C) カレント・シーケンス・ストア・リクエスト

ステータス	11110000	(F0H)
ID No.	01001101	(4DH)
システムNo.	00000001	(SEDI指定)
システムCH.	0sssnnnn	(s=SEDI CH.、n=MIDI CH.)
サブステータス	01011101	(5DH)
バイトカウント	00001010	(データーバイト数=10)
データーバイト	0a0ddddd	(d=0〜19、エンド・オブ・パッチはa=1)
	⌇	
	0a0ddddd	
チェックサム	0eeeeeee	
EOX	11110111	(F7H)

(D) サウンド・パラメーター・ストア・リクエスト、全パラメーター指定

ステータス	11110000	(F0H)
ID No.	01001101	(4DH)
システムNo.	00000001	(SEDI指定)
システムCH.	0sssnnnn	(s=SEDI CH.、n=MIDI CH.)
サブステータス	01011100	(5CH)
パラメーター1	0aaaaaaa	(a=サウンドNo.0〜19)
パラメーター2	01000000	(40H)
バイトカウント	0nnnnnnn	(データバイト数=1〜64)
データーバイト	00dddddd	(d=0〜99)
	⌇	
	00dddddd	
チェックサム	0eeeeeee	
EOX	11110111	(F7H)

(E) サウンド・パラメーター・ストア・リクエスト、パラメーターNo.指定

ステータス	11110000	(F0H)
ID No.	01001101	(4DH)
システムNo.	00000001	(SEDI指定)
システムCH.	0sssnnnn	(s=SEDI CH.、n=MIDI CH.)
サブステータス	01011100	(5CH)
パラメーター1	0aaaaaaa	(a=サウンドNo.0〜19)
パラメーター2	00cccccc	(c=サウンド・パラメーターNo.0〜63)
バイトカウント	00000001	(データーバイト数=1)
データーバイト	00dddddd	(d=0〜99)
チェックタイム	0eeeeeee	
EOX	11110111	(F7H)

(F) カレント・サウンド・パラメーター・ストア・リクエスト、全パラメーター指定

ステータス	11110000	(F0H)
ID No.	01001101	(4DH)
システムNo.	00000001	(SEDI指定)
システムCH.	0sssnnnn	(s=SEDI CH.、n=MIDI CH.)
サブステータス	01011011	(5BH)
パラメーター	01000000	(40H)
バイトカウント	0nnnnnnn	(データーバイト数=1〜64)
データーバイト	0ddddddd	(d=0〜99)
	⌇	
	0ddddddd	
チェックサム	0eeeeeee	
EOX	11110111	(F7H)

(G) カレント・サウンド・パラメーター・ストア・リクエスト、パラメーターNo.指定

ステータス	11110000	(F0H)
ID No.	01001101	(4DH)
システムNo.	00000001	(SEDI指定)
システムCH.	0sssnnnn	(s=SEDI CH.、n=MIDI CH.)
サブステータス	01011011	(5BH)
パラメーター	00cccccc	(c=サウンド・パラメーターNo.0〜63)
バイトカウント	00000001	(データーバイト数=1)
データーバイト	0ddddddd	(d=0〜99)
チェックサム	0eeeeeee	
EOX	11110111	(F7H)

[3] イベント・メッセージ

(A) モード・チェンジ・リクエスト

ステータス	11110000	(F0H)
ID No.	01001101	(4DH)
システムNo.	00000001	(SEDI指定)
システムCH.	0sssnnnn	(s=SEDI CH.、n=MIDI CH.)
サブステータス	01001111	(4FH)
パラメーター	00000aaa	(a=1:プレイ・モード、
		2:サウンド・モード、
		3:プレイ・スレーブ・モード、
		4:サウンド・スレーブ・モード、
		5:MODE 5、
		6:MODE 6、
		7:MODE 7、
EOX	11110111	(F7H)

(B) トリガー・リクエスト

ステータス	11110000	(F0H)
ID No.	01001101	(4DH)
システムNo.	00000001	(SEDI指定)
システムCH.	0sssnnnn	(s=SEDI CH.、n=MIDI CH.)
サブステータス	01001110	(4EH)
パラメーター	00000aaa	(a=トリガーNo.1〜7)
EOX	11110111	(F7H)

(C) サウンドNo.チェンジ・リクエスト

ステータス	11110000	(F0H)
ID No.	01001101	(4DH)
システムNo.	00000001	(SEDI指定)
システムCH.	0sssnnnn	(s=SEDI CH.、n=MIDI CH.)
サブステータス	01001011	(4BH)
パラメーター	000aaaaa	(a=サウンドNo.0〜19)
EOX	11110111	(F7H)

(D) バイパス・リクエスト

ステータス	11110000	(F0H)
ID No.	01001101	(4DH)
システムNo.	000000yy	(y=0 or 2:DMI 4、y=1:SEDI指定)
システムCH.	0sssnnnn	(s=SEDI CH.、n=MIDI CH.)
サブステータス	01001010	(4AH)
EOX	11110111	(F7H)

(E) エフェクト・リクエスト

ステータス	11110000	(F0H)
ID No.	01001101	(4DH)
システムNo.	000000yy	(y=0 or 2:DMI 4、y=1:SEDI指定)
システムCH.	0sssnnnn	(s=SEDI CH.、n=MIDI CH.)
サブステータス	01001001	(40H)
EOX	11110111	(F7H)

送信データー・フォーマット

チャンネル・ボイス・メッセージ

[1] プログラム・チェンジ／MIDI CH.

ステータス	1100nnnn	(n=0〜15：MIDI CH.)
プログラムNo.	0ppppppp	(p=0〜99)

システム・エクスクルーシブ・メッセージ

[1] ダンプ・データー

(A) 機種IDダンプ・データー

ステータス	11110000	(F0H)
ID No.	01001101	(4DH)
システムNo.	000000yy	(y=1：SEDI、y=2：DMI 4)
システムCH.	0sssnnnn	(s=SEDI CH.、n=MIDI CH.)
サブステータス	01101111	(6FH)
バイトカウント	0nnnnnnn	(データー/バイト数)
データー/バイト	0ddddddd	(機種ID No.)
	〜	
	0ddddddd	
チェックサム	0eeeeeee	
EOX	11110111	(F7H)

*チェックサムはデーター/バイト加算値の2の補数の下位7ビット

(B) シーケンス・ダンプ・データー、全バンク

ステータス	11110000	(F0H)
ID No.	01001101	(4DH)
システムNo.	00000001	(1=SEDI)
システムCH.	0sssnnnn	(s=SEDI CH.、n=MIDI CH.)
サブステータス	01101110	(6EH)
パラメーター	01000000	(40H)
バイトカウント	00110100	(データー/バイト数=100)
データー/バイト	0a0ddddd	(d=0〜19、エンド・オブ・パッチはa=1)
	〜	
	0a0ddddd	
チェックサム	0eeeeeee	
EOX	11110111	(F7H)

(C) シーケンス・ダンプ・データー、バンクNo.指定

ステータス	11110000	(F0H)
ID No.	01001101	(4DH)
システムNo.	00000001	(1=SEDI)
システムCH.	0sssnnnn	(s=SEDI CH.、n=MIDI CH.)
サブステータス	01101110	(6EH)
パラメーター	0000bbbb	(b=バンクNo.0〜9)
バイトカウント	00001010	(データー/バイト数=10)
データー/バイト	0a0ddddd	(d=0〜19、エンド・オブ・パッチはa=1)
	〜	
	0a0ddddd	
チェックサム	0eeeeeee	
EOX	11110111	(F7H)

(D) カレント・シーケンス・ダンプ・データー

ステータス	11110000	(F0H)
ID No.	01001101	(4DH)
システムNo.	00000001	(1=SEDI)
システムCH.	0sssnnnn	(s=SEDI CH.、n=MIDI CH.)
サブステータス	01101101	(6DH)
バイトカウント	00001010	(データー/バイト数=10)
データー/バイト	0a0ddddd	(S=0〜19、エンド・オブ・パッチはa=1)
	〜	
	0a0ddddd	
チェックサム	0eeeeeee	
EOX	11110111	(F7H)

(E) サウンド・パラメーター・ダンプ・データー、全パラメーター

ステータス	11110000	(F0H)
ID No.	01001101	(4DH)
システムNo.	00000001	(1=SEDI)
システムCH.	0sssnnnn	(s=SEDI CH.、n=MIDI CH.)
サブステータス	01101100	(6CH)
パラメーター1	0aaaaaaa	(a=サウンドNo.0〜19)
パラメーター2	01000000	(40H)
バイトカウント	0nnnnnnn	(データー/バイト数=1〜64)
データー/バイト	00dddddd	(d=0〜99)
	〜	
	00dddddd	
チェックサム	0eeeeeee	
EOX	11110111	(F7H)

(F) サウンド・パラメーター・ダンプ・データー、パラメーターNo.指定

ステータス	11110000	(F0H)
ID No.	01001101	(4DH)
システムNo.	00000001	(1=SEDI)
システムCH.	0sssnnnn	(s=SEDI CH.、n=MIDI CH.)
サブステータス	01101100	(6CH)
パラメーター1	0aaaaaaa	(a=サウンドNo.0〜19)
パラメーター2	0bcccccc	(c=サウンド・パラメーターNo.0〜63)
バイトカウント	0nnnnnnn	(データー/バイト数=1)
データー/バイト	00dddddd	(d=0〜99)
チェックサム	0eeeeeee	
EOX	11110111	(F7H)

(G) カレント・サウンド・パラメーター・ダンプ・データー、全パラメーター

ステータス	11110000	(F0H)
ID No.	01001101	(4DH)
システムNo.	00000001	(1=SEDI)
システムCH.	0sssnnnn	(s=SEDI CH.、n=MIDI CH.)
サブステータス	01101011	(6BH)
パラメーター	01000000	(40H)
バイトカウント	0nnnnnnn	(データー/バイト数=1〜64)
データー/バイト	0ddddddd	(d=0〜99)
	〜	
	0ddddddd	
チェックサム	0eeeeeee	
EOX	11110111	(F7H)

(H) カレント・サウンド・パラメーター・ダンプ・データー、パラメーターNo.指定

ステータス	11110000	(F0H)
ID No.	01001101	(4DH)
システムNo.	00000001	(1=SEDI)
システムCH.	0sssnnnn	(s=SEDI CH.、n=MIDI CH.)
サブステータス	01101011	(6BH)
パラメーター	00cccccc	(c=サウンド・パラメーターNo.0〜63)
バイトカウント	0nnnnnnn	(データー/バイト数=1)
データー/バイト	0ddddddd	(d=0〜99)
チェックサム	0eeeeeee	
EOX	11110111	(F7H)

[2] イベント・メッセージ

(A) バイパス・リクエスト

ステータス	11110000	(F0H)
ID No.	01001101	(4DH)
システムNo.	00000000	(コモン)
システムCH.	0000nnnn	(n=MIDI CH.)
サブステータス	01001010	(4AH)
EOX	11110111	(F7H)

(B) エフェクト・リクエスト

ステータス	11110000	(F0H)
ID No.	01001101	(4DH)
システムNo.	00000001	(コモン)
システムCH.	0000nnnn	(n=MIDI CH.)
サブステータス	01001001	(49H)
EOX	11110111	(F7H)

[3] コミュニケーション・メッセージ

(A) ACK (オペレーション完了)

ステータス	11110000	(F0H)
ID No.	01001101	(4DH)
システムNo.	00000001	(1=SEDI)
システムCH.	0sssnnnn	(s=SEDI CH.、n=MIDI CH.)
サブステータス	00111111	(3FH)
EOX	11110111	(F7H)

(B) NCK (データ受信エラー)

ステータス	11110000	(F0H)
ID No.	01001101	(4DH)
システムNo.	00000001	(1=SEDI)
システムCH.	0sssnnnn	(s=SEDI CH.、n=MIDI CH.)
サブステータス	00111110	(3EH)
EOX	11110111	(F7H)

(C) キャンセル (オペレーション実行不可)

ステータス	11110000	(F0H)
ID No.	01001101	(4DH)
システムNo.	000000yy	(y=1:SEDI、y=2:DMI 4)
システムCH.	0sssnnnn	(s=SEDI CH.、n=MIDI CH.)
サブステータンス	00111101	(3DH)
パラメーター	000000aa	(a=1:プロテクトON 2:パラメーター不適当 3:BUSY)
EOX	11110111	(F7H)

MIDIインプリメンテーション・チャート

[DCP MIDI INTERFACE] Date : Ø9.JUL.1987.
MODEL:DMI4 MIDI Implementation Chart Version : 1.Ø Maxon

Function ...		Transmitted	Recognized	Remarks
Basic Channel	Default	×	1-16	memorized
	Changed	×	1-16	
Mode	Default	×	OMNI ON/OFF	controlled by switch
	Messages	×	×	
	Altered	*************	×	
Note Number		×	×	
	: True voice	*************	×	
Velocity	Note ON	×	×	
	Note OFF	×	×	
After Touch	Key's	×	×	
	Ch's	×	×	
Pitch Bender		×	×	
Control Change		×	×	
Prog Change		o (Ø-99)	o (Ø-99)	
	: True #	*************		
System Exclusive		o	o	
System Common	: Song Pos	×	×	
	: Song Sel	×	×	
	: Tune	×	×	
System Real Time	:Clock	×	×	
	:Commands	×	×	
Aux Messages	:Local ON/OFF	×	×	
	:All Notes OFF	×	×	
	:Active Sense	×	×	
	:Reset	×	×	
Notes				

Mode 1: OMNI ON, POLY Mode 2: OMNI ON, MONO o=Yes
Mode 3: OMNI OFF, POLY Mode 4: OMNI OFF, MONO x=No